

いしがき



令和2年度 宇城市立小野部田小学校
 学校便り 第10号
 文責：校長 川端 保成
 ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

きつかった、けど最後まで頑張った

12月10日、気持ちよい青空の下、持久走大会を実施しました。今年はい平日開催としましたが、開会式前からたくさんの保護者や地域の方々が来校されました。低・中・高学年に分かれて2週間前から練習に取り組んできた成果を、たくさんの応援に囲まれて披露できることは、子どもたちにとっても非常に心強い



ものとなったはずですが、スタート直前はみんな緊張した表情でしたが、ピストルが鳴った瞬間、キリッとした表情に変わり、自信に満ちた顔で坂道を駆け下りていきました。ゴール直前の上り坂では、一番辛い場所にもかかわらず、



また、駐在さんにはパトカーでレース終了まで見守っていただき、あらためて地域に支えられているのだと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

たくさんの応援と励ましの声をかけていただいたことで、みんな勇気が湧いたのか、ほぼ全力疾走でゴールしていました。長距離走という「自分との闘い」だけでなく、「見えない何か」に背中を押され、頑張れたのだと思います。

楽しかった芸術鑑賞教室

12月4日に「劇団風の子九州」の方々を招いて、「やだ、やだ、あっかんべー」の劇を全校児童で鑑賞しました。学校になじめず都会から引越してきた少女が、田舎で再出発を目指します。そこで数々の妖怪？と出会い、そして・・・というあらすじです。劇団員の方は4名ですが、ひとりで何役もこなされ、

たくさんの登場人物を演じられ、体育館中が「風の子九州ワールド」に染まっていきます。途中、3・4年生全員が参加してのワークショップ形式で進められました。最後は全員で「あっかんべー！」でフィナーレとなりました。劇団の川島二郎様にお話を伺うと、コロナ禍の中、練習だけは欠かさず取り組まれたとのこと。また、講演が再開されてからは、定期的にPCR検査を受けての実施と聞



かされ、大変な状況の中で活動されていることが分かりました。この後は四国や兵庫で公演されるとのことでした。観劇中は、コロナ感染を忘れさせてくれるほど、素敵なお時間を与えていただきました。



人権集会で大切なことを学びました

12月17日、人権擁護委員の方々に来ていただき、人権集会を行いました。感染防止対策のため、例年とは違い1.2.3年生と4.5.6年生徒とに分かれて実施しました。「勇気あるホテルととべないホテル」のビデオを見た後、それぞれの立場に立って、たくさん感想を述べてくれました。仲間との絆の大切さや、優しさ、まわりへの思いやり、障害を抱えた方への接し方など、さまざまなことを学んでくれたようです。最後は子どもたちへ、「みんな違って、みんないい。」とのメッセージをいただきました。



今年一番の寒さの中、本校の取組をもう一度見直す貴重な機会となりました。

早いもので、気がつくと12月。今年を振り返ってみても、すべてにおいてコロナウィルスがつきまわってきます。年が明けても状況は好転するとは思えませんが、せめて初詣で新年の抱負を祈って・・・といきたいところですが、それも難しいようです。初夢だけは誰にも邪魔されず、楽しく、希望の持てるハッピーな夢を見たいなど願っています。みなさんにとって、今年は何んな年でしたか？ 私にとっては、教育活動を進めるに当たって困難なことばかりでしたが、小野部田小のみんなと出会え、保護者や地域の方々に支えられていることが実感できた、まさに感謝の1年でした。

1月の行事予定

- 1日 元旦
- ～6日 冬休み
- 7日 休み明け集会
- 10日 どんどや(11:00着火)
- 29日 授業参観 → 中止
- 学級懇談会 → 中止



各行事とも、感染防止の観点から、変更することもあります。ご理解願います。

※ 小野部田小学校のホームページに、「日々のつぶやき」として、学校生活のとある場面や、ちょっとしたエピソードなど、随時アップさせて頂いていますので、ぜひご覧ください。